

2018年6月実施 安全対策連絡協議会 開催報告

在オークランド総領事館

開催日時・対象者

- 6月6日（水） オークランド日本経済懇談会（二水会）
6月7日（木） オークランド日本人会

主な議題

- （1）総領事挨拶（6日のみ）
- （2）ニュージーランドにおけるテロ・一般安全事情
- （3）たびレジ紹介
- （4）意見交換

当館からの説明

（1）冒頭菊池総領事から、例年この時期に安全対策連絡協議会を開催しており、この機会に改めて安全について認識を高めていただきたい。また、当館のホームページには当地警察が作成した防犯ビデオを日本語の字幕付きで公開しているので、是非ご覧頂きたい旨述べた。

（2）続いて担当者から、概要以下の通り説明した。

- ・ニュージーランドではこれまで大きな治安上の問題はおきていないものの、侵入窃盗や車上荒らしなど軽犯罪が多く発生している。これらは自らの防犯意識を高めることで防げることが多いので、十分注意してほしい。
- ・3月以降、中国語による詐欺電話が急増している。音声に従ってボタンを押すと個人情報搾取される仕組みであり、十分気をつけてほしい。
- ・先日一人暮らしの30代男性がオークランドの自宅において病気で亡くなっているのが発見された。日本から駆けつけた男性家族のご意向で遺体のまま日本に搬送することになった。これら費用は大変高額なものであるが、男性は医療保険に加入していた。ただし、保険金の受取人を本人としており、このように受取人が死亡した場合、事前に遺言書で受取人を指定している必要があるが、今回遺言はなく、裁判所の手続きを経て受取人を家族に指定することとなる。

万が一にそなえ、保険の確認、また必要に応じて遺言の用意を検討いただきたい。

- ・オークランド市内のショッピングセンターで日本人女性が現金数百ドルを奪われる事件が発生した。女性はATMで現金を下ろし、隣接したスーパーマーケットで買い物を済ませ駐車場へ向かった際、男数人に囲まれた由。男達は被害者がATMで現金を手するところから目を付け、チャンスを狙っていた模様である。

一方、人通りが少ない場所の ATM には犯行グループがスキミングを目的として、偽のカードリーダーを設置しているケースもある。ATM 利用について十分気をつけてほしい。

- ・ニュージーランドや日本以外の第三国でパスポートを紛失した場合、現地の大使館や総領事館で「帰国のための渡航書」かパスポートの再発給を受ける必要がある。前者は「日本へ帰国するため」の書類でニュージーランドに戻ることはできない。また、パスポートの再発給のためには日本から戸籍謄本を取り寄せつつ、発給まで約 1 週間待つ必要がある。パスポート管理には十分気をつけてほしい。
- ・たびレジは海外滞在中に現地の在外公館から緊急情報を受け取れるシステムである。ニュージーランドに住む日本人であっても、オーストラリアなど海外に渡航する際は是非利用していただきたい。

出席者からのコメント・Q & A

(1) 中国語以外でも詐欺電話を受信することがある。インドやイギリスの番号から受信したこともあり、無視することになっている。

(2) ショッピングを終え車のトランクに荷物を入れる際、ハンドバッグを肩にかけている女性は狙われやすいようだ。人気がないところは特に目を配り注意したい。

(3) 海外旅行中パスポートのコピーを必ず持つようになっている。

(4) パスポートは常時携帯する必要があるか？（これに対し当館担当者から、NZではそのような規定はないが、国によっては常時携帯を義務づけているところがあり、渡航前に調べることをお勧めする旨回答）。